

2021年度（令和3年度）第3回常任幹事会議事録

日時：令和3年12月3日（金）13:00～15:00

方式：CISCO Webex によるオンライン会議

参加者（敬称略）

青山佳弘，浅川大地，石切山一彦，伊藤滋之，岩井貴弘，岩月聡史，宇田亮子，大塚利行，大城敬人，岡本行広，奥田浩子，糟野潤，河原直樹，川上奈津子，北隅優希，許岩，木村恵一，紀本岳志，久保埜公二，久保拓也，桑本恵子，小池亮，小林宏資，坂本英文，下赤卓史，下条晃司郎，白井理，鈴木雅登，鈴木茂生，末吉健志，瀬戸康雄，高野祥太郎，竹田さほり，田中陽，田中章夫，茶山健二，塚越一彦，辻幸一，壺井基裕，鳥羽真由子，豊田岐聡，永井秀典，中島陽一，中田靖，中原武利，西埜誠，西尾友志，橋田紳乃介，久本秀明，藤森啓一，堀山志朱代，前田耕治，向井浩，村松康司，森田成昭，森内隆代，森澤勇介，山本佐知雄，山本雅博，堀田弘樹，藤森啓一，森田成昭，安井裕之，安川智之，吉田裕美，脇阪達司

0. 支部長あいさつ

独占禁止法順守宣言の後，村松支部長の挨拶が行われた。

1. 前回常任幹事会議事録承認

資料 No. 1 に基づき，末吉庶務幹事より，前回幹事会の議事録確認が呼びかけられた。

2. 本部関係報告

(1) 本部理事会報告

資料 No. 2 に基づき，村松支部長より，女性理事オブザーバーとして近畿支部からは吉田由美氏が加わることが紹介された。また，本部の会員システムについて，国際文献社からアトラス社への変更が報告された。2021年度学会賞等受賞者について，近畿支部からは石濱泰氏（京大院薬），宗林由樹氏（京大化研），民谷栄一氏（阪大院工）の学会賞受賞が，岩井貴弘氏（理研）の奨励賞受賞が，それぞれ報告された。本部会計について，昨年度と比較すると収入減より支出減のほうが若干大きくなり，上半期の収支はほぼ横ばい，決算としては若干の黒字が予測されることが説明された。また，次年度の近畿支部への支部費配分額は156万円程度となることが報告された。

学術事業関連の報告として，年会討論会システムの「Confit」への変更と次回討論会からの運用開始が説明された。また，年会の余剰金のうち33%が近畿支部に配分されるという内規が説明された。今後の年会・討論会において，2024年の討論会は近畿支部が担当すること，ICAS，アジア分析化学シンポジウムは当面開催を見送ることが説明され

た。ほか、ぶんせき誌の電子化、ぶんせき誌と分析化学誌のシステム統合、X-ray Structure Analysis Online 誌の廃止、Analytical Sciences 誌の Springer Nature 社への出版委託が説明された。

(2) 「ぶんせき」編集委員会報告

資料 No. 3 に基づき、末吉庶務幹事により、会議報告および近畿支部担当分の原稿の執筆状況が代読された。また、冊子体は来年の 2 月までで、それ以降は電子版となることが報告された。

(3) 「Analytical Sciences」編集委員会報告

資料 No. 4 に基づき、壺井委員より会議報告がなされた。Springer Nature 社に外部委託となること、投稿論文数が減少していること、IF が低下していることが報告された。また、村松支部長より Springer Nature に委託することで Accept 後の処理が早くなることが説明された。

(4) 「分析化学」編集委員会報告

資料 No. 5 に基づき、久保委員より会議報告がなされた。分析試薬研究懇談会特集の締め切りが延長されていることが紹介された。また、山本委員より“高感度解析に寄与する分離分析技術”の論文募集と締め切りが延長されていることが説明された。

3. 2021 年度支部事業中間報告

資料 No. 6 に基づき、末吉庶務幹事より 2021 年度支部事業における中間報告がなされた。

(1) ぶんせき講習会

資料 No. 7 に基づき、岩月次期講習会委員長より、2021 年度分析器講習会について基礎編その 1 と発展編の開催報告がなされた。また、2022 年度の実施計画および予算案が紹介され、会告案の承認が求められ、多数の賛成をもって承認された。

(2) 支部講演会 WG

資料 No. 3 に基づき、向井委員より、第 2 回支部講演会の報告がなされた。また、本日開催される第 3 回講演会および 2022 年度第 1 回の支部講演会の案内がなされた。

(3) 提案公募型セミナーWG

資料 No. 9 に基づき、末吉庶務幹事より、現時点で本年度の提案はないものの、引き続き提案を募集している旨が代理で紹介された。また、オンライン開催を基本とする本年度の方針については、COVID-19 禍の状況を鑑みて適宜判断する方針である旨が併せて報告された。

(4) ホームページ&ニュース WG

資料 No. 10 に基づき、田中委員によって、ホームページの更新およびぶんきんニュース 51 号の発行について報告があった。また、52 号の計画および企業広告を募集している旨が説明された。

(5) 第 15 回近畿支部夏季セミナー

資料 No. 11 に基づき、岡本委員によって第 15 回夏季セミナーの開催報告および会計報告がなされた。また、久保委員より、2022 年度は 8/4~5 のスケジュールで、島津製作所（京都）協力の下で開催予定であり、講演・ポスター発表のほかに島津製作所の工場見学を予定していることが説明された。

4. 2021 年度近畿分析技術研究奨励賞選考結果報告

資料 No. 12 に基づき、選考結果が末吉庶務幹事によって紹介された。会場の承認を経て、鈴木氏の受賞が決定された。

5. 2021 年支部会計中間報告

資料 No. 13 に基づき、小池会計幹事によって現時点での 2021 年度会計の中間報告がなされ、年度の収支として 110 万円程度の黒字が見込まれることが説明された。

6. 2022 年度支部役員体制

資料 No. 14 に基づき、村松支部長によって、役員選考委員会の結果に基づく 2022 年度支部役員案、WG 委員会の分担案が説明された。会場の賛成多数をもって承認された。

7. 2022 年度支部事業計画案

資料 No. 15 に基づき、北隅庶務幹事によって 2022 年度の支部事業計画が説明された。基本的には例年通りであるが、会場は対面あるいはオンライン開催と不確定であることが末吉庶務幹事によって補足された。本事業計画について、参加役員から承認を得た。

8. 2022 年度予算案

資料 No. 16 に基づき、糟野会計幹事によって 2022 年度の予算案として、COVID-19 禍終息を想定し、すでにオンライン開催が予定されている事業以外は対面実施を予定とした予

算案を組んだことが説明された。会場からの承認を得た。

9. 第70年会報告

資料 No. 17 に基づき、大塚実行委員長より第70年会の報告がなされた。余剰金の33%が支部予算に入ることが説明された。詳細はぶんせき誌12月号、ぶんきんニュースに報告された旨が説明された。

10. その他

(1) 合同事務局運営委員会報告

村松支部長より合同事務局の委員会報告がなされた。新規職員はコロナ禍終結後に検討したいという意向と、近畿支部は人件費の2%、事務費の5%を負担することが説明された。

(2) 代議員候補推薦について

資料 No. 19 に基づき、末吉庶務幹事より、本部へ代議員候補18名を推薦したことが報告された。

(3) 2022年度学会賞等各賞候補者推薦の件

末吉庶務幹事より、学会賞等推薦委員会の議論の結果に基づき、推薦手続きを進めている旨が報告された。

(4) 共催・協賛など

資料 No. 20 に基づき、末吉庶務幹事より、大阪工研協会からの「分析展と講演・技術発表会」への協賛依頼が届いていることが説明され、会場の承認を得た。

(5) その他

資料 No. 21 に基づき、理研の雇止めに関する紹介がなされた。

以上